「これからの感染対策」　～大切な人を守るために私たちにできる対策とは～

小川内科胃腸科医院　小川　紘太郎

令和3年12月14日、朝倉総合市民センター（ピーポート甘木）にて、令和3年度第2回スタッフセミナーが開催され、「これからの感染対策」　～大切な人を守るために私たちにできる対策とは～　と題して久留米大学医学部看護学科学科長の三橋睦子先生にご講演頂きました。

講演は、COVID-19などの感染症の感染経路、マスクの有用性や付け方の解説、手指衛生の方法と重要性、換気の方法など今後の感染対策に実践できる実用性の高いお話に加え、実際に蛍光物質をいれた注射器を用いてマスクの種類による飛沫抑制の違いを実際に参加者に体感させるというような工夫されたものでした。特に、セミナー参加者のうち6名に実際にPPE（ガウン、キャップ、フェイスシールド、マスク、手袋）着脱をしてもらい、汚染物質を模した蛍光塗料がどこに付着しやすいか（首回り、袖口に付着しやすい）というお話があり、今後PPEの着脱にあたって気をつけるべきポイントだと実感しました。

講演の中では、感染を防ぐために、看護、介護に際して患者との立ち位置、手洗いのタイミング、どのような順番でケアするかを考えることが必要だというお話がありました。また、病院・施設などにおける面会禁止の状況やその影響、風評被害やマスコミの影響などの社会的課題、個人の感染症に対する意識向上の重要性にも触れられました。日常の医療、介護の現場でも、また社会全体においても個々人が感染症に対して基本的な知識を持ちつつ、それぞれの状況に応じて自分の頭で考え行動することが大事だということが認識できた大変有意義なセミナーでした。